

★カメラリポート★

7/17 小学生のアイデアで軽トラ市が大盛況！

後免町商店街で行われたごめんの軽トラ市で、シャモ肉コロック「シャモック」を販売するごめんシャモ研究会と、大篠小学校6年1組の児童がコラボ(共同作業)しました。シャモックを5つ買われた方に、児童が作製したシャモ番長のキーホルダー(フェルト製・アクリル製)を抽選でプレゼントしました。プレゼントは大好評で、5つ単位の注文が相次ぎ、シャモックの提供が間に合わず、長蛇の列ができました。

また、児童が呼び込みやレジの会計・商品の引き渡しなどを行った結果、目標としていた最高売上となる500個を完売し、軽トラ市は大いに盛り上がりました。



学校給食のお米は南国市産

南国市の学校給食では、原則週5回ごはんが提供されます。小学校・中学校ともに、全て南国市産米を使用し、年に数回提供される米粉パンにも、南国市産米からできた米粉が使用されています。

小学校では、市北部の中山間地域で栽培されている棚田米(ヒノヒカリ)と、平野部でとれた平場米(コシヒカリ)を使用しており、家庭用電気炊飯器で炊飯していることが大きな特徴です。各校の給食室で炊飯した後、子どもたちが教室に炊飯器を運び、ほかほかのごはんを盛りつけていきます。

中学校では、平場米(コシヒカリ)を使用しています。学校給食センターで電気式連続炊飯器を使って炊飯し、保温食缶に入れて各校に運びます。

8月初旬から平場米の収穫が始まり、9月から全校で新米が提供されています。9月下旬からは棚田米も収穫が始まり、小学校では11月から棚田米の新米を提供できる予定です。子どもたちは、地元でとれたおいしい新米を生産者への感謝も含め味わっています。

■問い合わせ／学校教育課 学校給食係
☎863-2566



7/17 ゴメンジャースケッチ会

きりっと晴れた快晴のもと、久しぶりの軽トラ市と同時開催で、ものづくりアトリエteteでは、ゴメンジャーをモデルにスケッチ会がありました。

たくさん子どもたちが集まって、鉛筆やカラーペンを使ってのびのびと描いていました。短い時間でしたが、傑作ぞろいの楽しいイベントとなりました。



7/17 スペシャルトークイベント

海洋堂と関わりがある南国市と四万十町が共催する「アリスの不思議なまちめぐり」のキックオフイベントとして仮面ライダー1号を演じている「藤岡弘、」さんと、海洋堂の「宮脇センム」のトークイベントが開催されました。限定100人の募集はあっという間に埋まってしまい、当日は老若男女たくさんの人が来場しました。

藤岡さんは、世界中の貧困や紛争で苦しむ地域に支援へ行った時のお話や、現在も続けられている武道のことなどを語られました。

観覧者からの質問コーナーもあり、充実した90分間のトークイベントでした。



7/4 十市・緑ヶ丘高齢者教室

市内8カ所の高齢者教室のうち、十市・緑ヶ丘高齢者教室で「健康講座」が開催されました。

講師は昨年第50回医療功労賞を受賞された、理学療法士の元吉明さん。元吉さんが考案した「元気体操」は市内のいきいきサークルでも実施されています。「しあわせ」で健康に過ごしていくための講話や、元気体操をおこない、和やかな雰囲気の高齢者教室となりました。



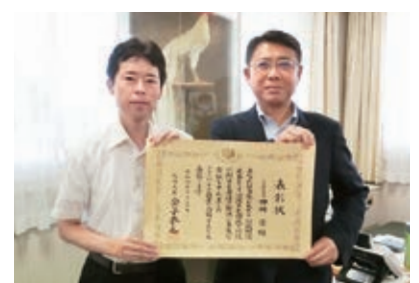
6/30 小学生への高等学校進路説明会(岡豊小多目的ホール)

国府・久礼田・岡豊・白木谷・奈路小学校の6年生(奈路小は5年生も含む)に向けて、市内4つの高等学校(高知農業・高知東工業・岡豊・国立高知高専)に関心を持ってもらうことなどを目的とした学校説明会が開催されました。

各高等学校からは、写真やクイズなどを交えた説明があり、「小・中・高で基本をしっかりとしていれば、きっと将来の役に立つ」「自分が何をしたいのか、自分発見をしてほしい」などのメッセージを送っていました。児童からは「畑がなくても農業はできますか」「どんな校則がありますか」などの質問も出されました。



▲7/29 農業高校生徒によるアンパソマン石像清掃 (後免町)



▲7/28 行政相談委員田岡崇さん 総務大臣表彰受賞表敬訪問(市役所)